

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1、参加者：L 義間、矢古宇 以上2名

2、山城・ルート： 爺ヶ岳南尾根～鹿島槍ヶ岳南峰～赤岩尾根下山

3、交通手段：電車 **車** バス

4、行動記録：

5月3日（水） 15：00 神戸発→23：30 中央道 扇沢 P 仮眠

5月4日（木） 3：15 起床→4：45 出発→5：03 登山口出発→9：30？ JP
→11：10 爺ヶ岳南峰山頂着→ 14：00 冷池山荘着 テント設営
→19：30 就寝

5月5日（金） 3：30 起床→ 5：10 出発→6：10 布引岳→7：20 鹿島槍ヶ岳南峰
→9：00 冷池山荘着 爺ヶ岳東尾根班と合流 テント撤収→ 10：10
出発→（赤岩尾根） →12：00 高千穂平→16：00 西俣出合（大
休憩） →17：30 大谷原着

5、山行は予定の内容・日程で行動出来たか

- ・当初の計画では5/5 冷池山荘から鹿島槍ヶ岳南峰往復のみで5/6に赤岩尾根を下山予定であったが、5/6の悪天が予想された為、5/5に鹿島槍南峰往復後、他班と合流し赤岩尾根を下山した。
- ・爺ヶ岳山頂までは無線が通じず携帯電話で連絡。
- ・天候が良く風も穏やかでルートは明瞭。1300m位まではヤブ多し。

6、事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す

- ・特になし。アイゼンをヤブに引っかけたり、雪が柔らかいため転倒、滑落する可能性も考えて慎重に歩いた。

7、その他、ルートに関する情報・気がついた事など

- ・南尾根は登山者もちらほらおり比較的歩きやすい道であった。
- ・柏原新道から南尾根の分岐には特に道標は見当たらなかったが、適当な個所（1300m付近）にてヤブの道から分かれて雪面を直登し頂上を目指した。
- ・赤岩尾根は、急な上に、湿雪、踏み抜き等でトレースが途切れており、思った以上に下山に時間が掛かった。時折、西沢が雪崩れる音がし、雪崩れるところを見た。

8、感想

- ・この冬にトレーニングしてきたことを春山合宿にておさらいし、次につなげることを目標にした。何日も前から天気とにらめっこし、ミーティングではルート研究して準備した。一つ一つの経験がとても楽しく、道中も心に残る人や植物、動物との出会いが多かった。

二人で春山に登るのは初めてであったし、初めてのルートだったのでどうなる事かと心配もしたが、ほぼ予定通りの行動が出来たことが嬉しかった。登山中は、他班も頑張っ
て登っているだろうなどと考えながら隣の尾根を眺め、時々無線機から聞こえてくる情
報を大切に早く皆に会えたらいいなと心待ちにした。自分達の目的地までの道のりを安
全にと心がけながらも始終ワクワクする楽しい山行だった。快晴の青空も味方してくれ
ている様だった。

これまで一緒にトレーニング下さった皆様、今回共に登山下さった矢古宇さんには心よ
り感謝！！またご一緒下さいね(^)/ (義間)

- ・今シーズンは、ありがたいことに、色々な冬山に登らせてもらうことができた。一般ル
ートからバリエーション入門？まで。その総集編という位置づけで、自分達だけで行く、
ということを目的とした。二人でルートも検討した。南尾根は一般ルート、登っている
人も多い、と思っ
てはいても、緊張して臨んだ山行だった。

結局、トレースがあり、それを頼ってしまったが、二人で登れたことは嬉しかった。合
宿ということもあり、無線や電話で、他パーティーと連絡を取り合い、状況を確認し、
仲間意識を持てたこともよかったと思った。また、つがいの雷鳥に2回も出逢えたこと
はラッキーだったかも？ 下山の赤岩尾根は、予想以上にきつい急斜面で、思った以上
に時間が掛り、しんどかった。が、帰りには、カモシカにも遭遇。楽しい山行となった。
来年に繋がる山行となったかは？ではあるが、今シーズンの締めくくりとなった。

来年も、皆さんと一緒に、色々な冬山、雪山に登りたい！

義間さん、皆さん、よろしくお願いします。

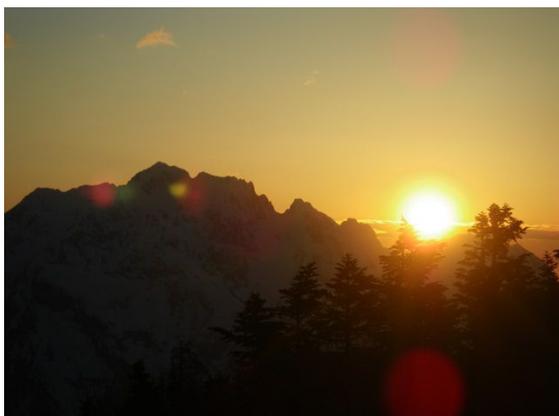
(矢古宇)



5/4 (木) 爺ヶ岳南峰で (北峰はパスした)



山頂からの刃の眺め



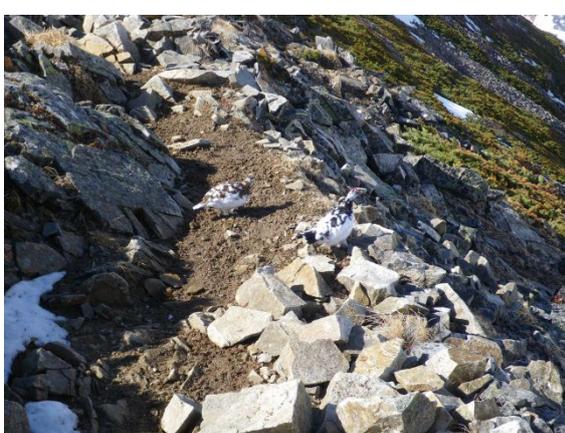
テン場から眺めた剣に落ちる夕日



5/5 (金) 布引山に向かう



鹿島槍南峰に到着！



急に目の前に飛び出してきた雷鳥のつがい



赤岩尾根の急斜面を下りる



西俣で大休止中---